



Pillow lava (写真上)

玄武岩の様な粘性が小さい溶岩流は枕状あるいは俵状の団塊 (pillow lava) として固結する。団塊は一般にガラス質の皮殻を持ち、下方に足を出す。地質時代のものは足の有無で地層の上下判定に使われる。写真は27億年より古いものであるが、原形の保存がすばらしい。写真の上が上位、スケールの長さ18cm。

Hyaloclastite (写真下)

玄武岩質溶岩が水中に流出し、表皮が急冷する時、ガラス質皮殻がしばしば破碎される。その小片からなる岩石をハイアロクラスタイトと呼ぶ。写真は枕状溶岩のマトリックスに産出するものが、さらに変形したものである。共にカナダのアビティビ緑色岩帯の最下部玄武岩層から得られたもの。(石原舜三)

